

## 急性および慢性心不全の臨床像に関する後ろ向き研究

### 1. 研究の対象

- (1) 2014年から2019年に当院外来および入院で急性および慢性心不全に関して診療を受けた患者
- (2) 心不全の診断は日本循環器学会ガイドライン（急性・慢性心不全診療ガイドライン2017年改訂版）に準拠して行う。
- (3) 年齢20歳以上

### 2. 研究目的・方法

近年、薬物療法および非薬物療法の進歩により、急性および慢性心不全患者の予後は改善がみられているが、人口の高齢化に伴い、心不全患者の高齢化および患者数の増加を認めている。そうした中で、心不全患者の半数以上は高齢者に該当するが、高齢心不全患者では、心機能などの心臓因子以外のフレイル・サルコペニア、栄養状態、抑うつ、認知機能など社会環境因子などの非心臓因子が心不全増悪による再入院や死亡に関連することが報告されている。本研究では、2014年1月1日から2019年10月31日に当院で心不全に対する診療を受けた患者様を対象に、死亡、心不全増悪による再入院に関連する因子について包括的に検討を行う。また、心不全ステージ分類ステージDの終末期の心不全患者においては、アドバンスケアプランニング、緩和ケアを実施しているが、このような終末期の介入により、患者本人および家族の意思決定に与える影響についても検討する。

研究期間：2019年10月1日から2024年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療記録をもとに後ろ向きに調査する。調査内容は、年齢、性別、身長、体重、介護度、居住環境などの基本情報、血液検査、経胸壁心エコー図、心臓カテーテル検査、12誘導心電図などの検査所見、内服薬および点滴薬の薬物療法、冠動脈インターベンション、心臓再同期療法、植え込み型除細動器、非侵襲的陽圧換気療法、外科手術などの非薬物療法、歩行機能および握力などの身体機能、認知機能、抑うつ評価などの診療情報を収集する。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

高知大学医学部老年病・循環器内科学 久保 亨

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 電話番号：088-880-2352

研究責任者：高知大学医学部老年病・循環器内科学 北岡 裕章